

ESDの視点表による各学校授業プラン（計画）

龍郷町立戸口小学校（ESD研究員 中村利之，西牟田司，米山 修一）

1 単元名・学校種と学年（総合的な学習の時間）

「ウミガメのなみだ」

戸口小学校 第3学年

2 単元について

(1) 教材の特性

戸口校区には、戸口川と大美川という2つの川が流れ、校区南側で合流し戸口港のある海岸へと流れている。2つの川（特に戸口川）は、校区民の生活排水が直接流れこみ、そのまま海へ流れているため環境への影響は少なくないと考えられる。また、最近では、昨年までの水害で海岸に土砂が崩れ落ちたままになっているため、海岸線付近の海は土色に変色している。本教材は、ウミガメを対象としてその生態を学習することにより、生物と自然環境のつながりや自然環境に与える私たち人間の生活の影響などを考えさせ、環境に配慮した生活の実践化へとつないでいくのに適した教材である。

(2) 単元のねらい

奄美で見られるウミガメの生態と暮らしを通し、海の大切さ、命の不思議さを感じさせるとともに、人間によって彼らの生活が脅かされていることを自覚させる。その上で、自分たちには何ができるのかを考えさせ、海の環境への関心を高めつつ、自分なりにできる自然環境に配慮した生活の実践を図る。

3 ESDの視点の明確化

(1) 持続可能な社会づくりの構成概念

Ⅲ 有限性

自然環境は、一度破壊されるとなかなかもとにもどせないということ。

Ⅵ 責任性

生物の暮らしと自然環境は、私たち一人一人の普段の生活の影響を受け変化していくものなので、そのことを自覚し、環境の変化に責任を持たねばならないということ。

(2) 重視する能力と態度

② 未来像を予測して計画を立てる力

③ 多面的・総合的に考える力

私たちの生活が与える環境の将来の変化や生物への影響という視点で多面的・総合的に考え、予想する力。

⑦ 進んで参加する態度

⑧ 自己制御能力

自然を大切に生活する生活や、そのための決まりを守って生活していこうとする自主的な態度や自己制御能力。

4 ESDの視点表による整理

持続可能な社会づくりの構成概念							ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度							
Ⅰ 多 様 性	Ⅱ 相 互 性	Ⅲ 有 限 性	Ⅳ 公 平 性	Ⅴ 連 携 性	Ⅵ 責 任 性	Ⅶ 創 造 性	① 批 判 的 に 考 え る 力	② 未 来 像 を 予 測 し て 計 画 を 立 て る 力	③ 多 面 的 ・ 総 合 的 に 考 え る 力	④ コ ミ ュ ニ ケ シ ョ ン を 行 う 力	⑤ 他 者 と 協 力 す る 態 度	⑥ つ な が り を 尊 重 す る 態 度	⑦ 進 ん で 参 加 す る 態 度	⑧ 自 己 制 御 能 力
【多様】	【相互】	【有限】 ○	【公平】	【連携】	【責任】 ○	【創造】	【批判】	【未来】 ○	【多面】 ○	【伝達】	【協力】	【関連】	【参加】 ○	【制御】

5 単元の指導計画（総時数9時間）

次	主な学習活動	教師の具体的な働きかけ
一次 ウミガメとは①	<p>ウミガメとは、どんな生き物なのだろう。どんな生活をしているのだろうか。戸口の海にもいるのだろうか。</p> <p>1 奄美で見られるウミガメについて知る。 教師の読む絵本で、ウミガメの一生を知り、その生態に興味を持つ。</p> <p>2 ウミガメの産卵の様子を知り、砂浜の大切さを知る。</p> <p>3 アオウミガメとアカウミガメについて、2種の生態や産卵する時の砂浜の環境条件の違いなどを知る。</p>	<p>○ウミガメについて関心を持たせ、身近にこのような動物がいることのすばらしさを感じさせる。 (実物大ポスター、はく製、絵本)</p> <p>○ウミガメの卵の形、砂を掘る動きなどに注目させる。</p> <p>○2種の違い、特徴、奄美との関わりなどについて紹介する。 ○龍郷町は、奄美大島の中でも有数の産卵場所であることを知らせる。 (DVD、ワークシート)</p>
二次 ウミガメが暮らしやすい海とは③	<p>ウミガメが暮らしやすい海とはどんな海なのだろう。</p> <p>4 ウミガメの気持ちを考えよう</p> <p>5 ウミガメの悩みを考える。</p> <p>6 ウミガメが暮らしやすい海は、どんな海なのか考える。</p>	<p>○ウミガメが安心して卵を埋める場所を考えさせる。 ○戸口の砂浜は、昔はよく産卵していたが、今はほとんど産卵した形跡がないことを知らせる。 ○ウミガメを取り巻く問題を具体的に紹介し、問題点を整理させる。 (戸口の砂浜では、なぜ産卵されなくなったのか考える。)</p> <p>○ウミガメがこれからも奄美にたくさん来られるようにするために、奄美の海をどのようにしていったらよいか考えさせる。</p>
三次 戸口の川や浜に行つて考えよう③	<p>戸口の川や浜に行つて、生物と環境について考えよう。</p> <p>7 戸口の浜や川に行き、ゴミを見つけたり、生き物を観察したり、水質を調べたりする。</p> <p>8 観察して調べたことをもとに私たちの生活と環境について考える。 ・環境を守るために、私たちができることを決める。</p>	<p>○春の1日遠足の際に、浜の様子をこれまでの様子と関連づけながら観察させる。(ウミガメの足跡など)～雨天の場合は、水害による土砂崩れで埋まった海岸や付近の土色に濁った海を観察させる。</p> <p>○2つの川の合流地点から、上流にさかのぼらせて生き物や川の様子を観察させ、水質について調べ、その理由も考えさせる。 ・下流～石にのりがはっている。 におい(魚?)が強い。 濁っている。ゴミがある。 ・上流～きれい。 においがしない。 石にのりがはっていない。</p> <p>○環境を大切にするために、自分たちが今からできることを考えさせ、実践しようとする意欲を持たせ、実践化を図る。</p>